

《 市民意見レーダー 》

2025年度 調査結果報告書

速 報 版



ターゲット 16.7

調査の目的

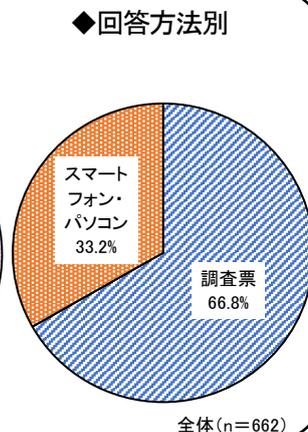
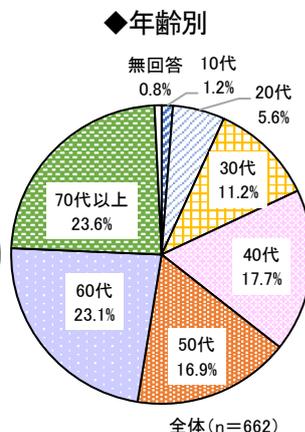
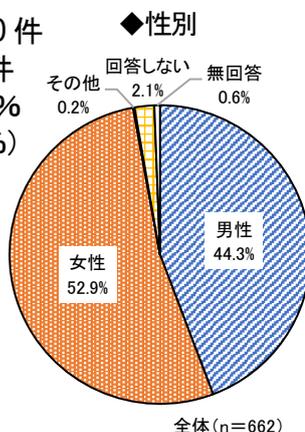
時代とともに変化する市民の皆さまの意見や様々なニーズを把握し、今後の施策、事業の検討、推進、評価等の基礎データとして活用するため、毎年実施しています。

調査の設計

- ◆調査地域：郡山市全域
- ◆調査対象：郡山市内にお住まいの満18歳以上の者
- ◆標本数：1,500人（男性750人、女性750人）
- ◆抽出方法：住民基本台帳（令和7年5月1日現在）からの年代、地域を考慮した無作為抽出
- ◆調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの返信
- ◆調査期間：令和7年5月28日～令和7年6月13日（17日間）
- ◆調査項目：
 - ①幸福度の現状について…3問
 - ②住みやすさについて…2問
 - ③まちづくりについて（6分野45項目についての満足度）…45問
 - ④これからの取組について（6分野45項目についての重要度）…1問
 - ⑤行政センターの利用状況について…9問
 - ⑥対象者の基本属性について…8問
 - ⑦市への意見や要望など（自由記載）…1問

回収結果

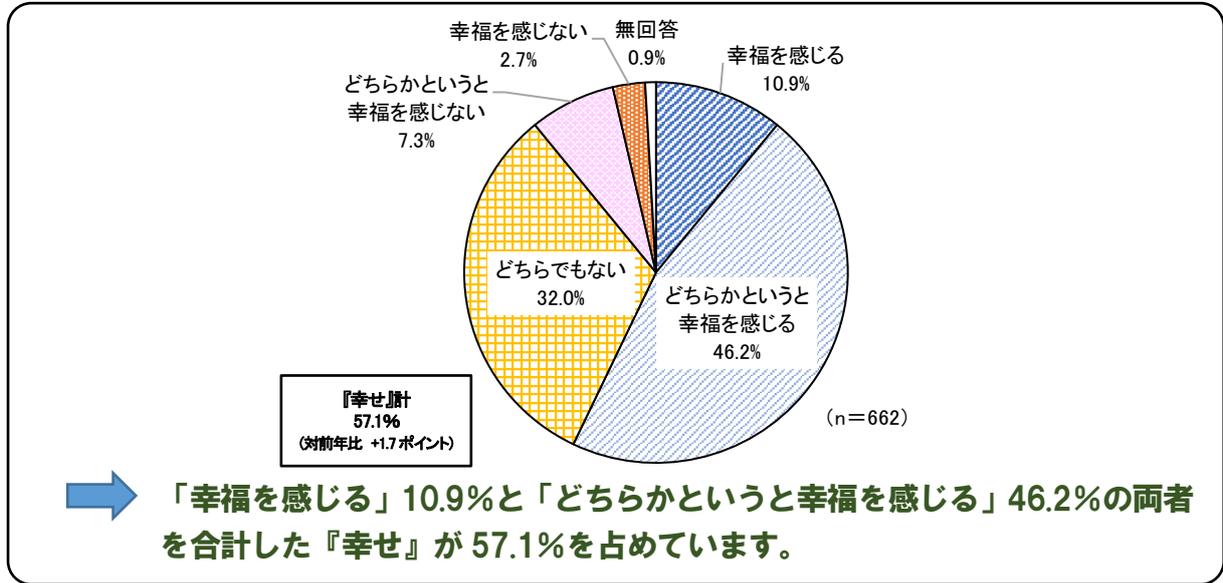
- ◆発送数：1,500件
- ◆有効回収数：662件
- ◆有効回収率：44.1%
(対前年比 -0.4%)



※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

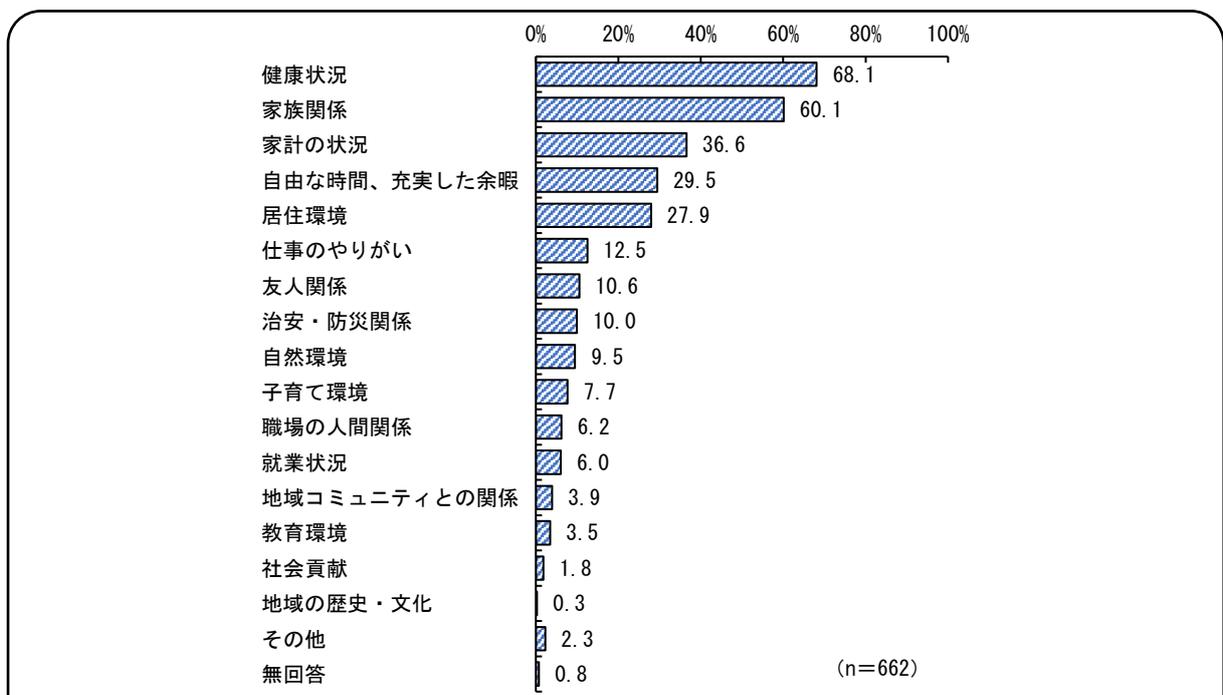
普段どの程度幸福だと感じていますか？

普段の幸福感 6割弱の方が「幸せ」を感じています。



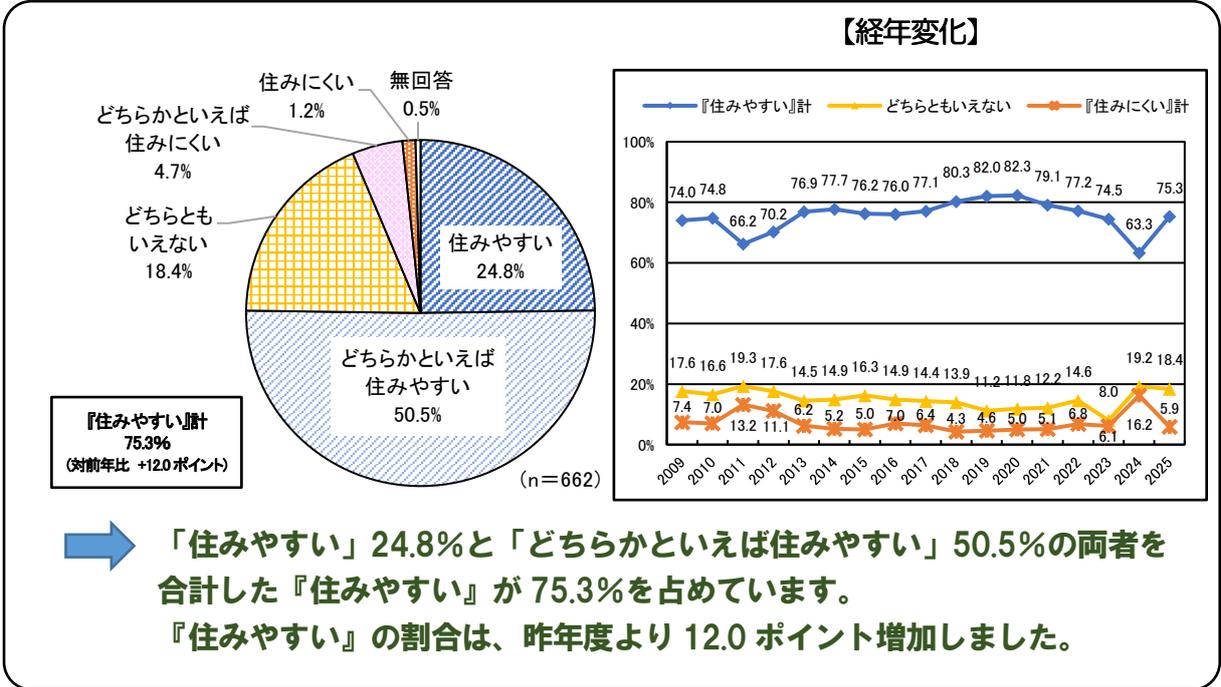
幸福かどうか判断する際に重視した事項は？ (複数回答)

幸福の判断事項 6割以上の方が「健康状況」と「家族関係」と回答しています。



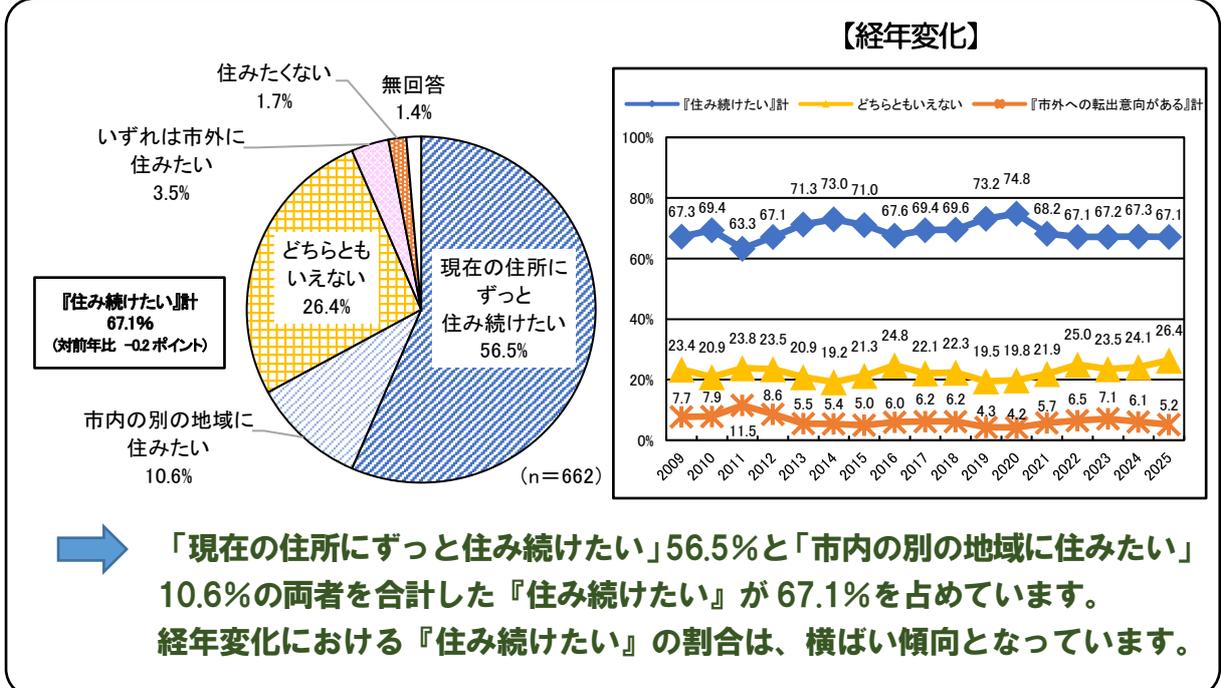
郡山市の住みやすさは？

住みやすさへの評価 7割半ばの方が郡山市を「住みやすいまち」としています。



今後も郡山市に住みたいですか？

今後の居留意向 7割弱の方が今後も郡山市内に「住み続けたい」としています。



「まちづくり」についての満足度は？

項目（施策）への満足度

満足度上位3つは「音楽のまちづくり」「広聴広報」「医療」です。

【45項目（施策）の満足度ランキング】

※よい=100点、どちらかといえばよい=80点、どちらかといえば不満=60点、不満=40点、配点平均=70点
調査結果全体平均=69.7点

順位	前年度 順位	分野	項目	満足度 (点)	順位の変動	10位以上の 変動
1位	(1位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	音楽のまちづくり	77.6	→	
2位	(9位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	広聴広報	76.1	↗	
3位	(2位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	医療	76.0	↘	
4位	(3位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	自然環境	74.8	↘	
5位	(6位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	スポーツ・文化・芸術	74.3	↗	
6位	(4位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防災	73.7	↘	
6位	(5位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	健康づくり	73.7	↘	
8位	(13位)	基盤的取組	D×推進	73.4	↗	
9位	(13位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	歴史・文化遺産	73.3	↗	
10位	(8位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	子育て	72.9	↘	
11位	(7位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	住環境	71.9	↘	
12位	(10位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	青少年健全育成	71.7	↘	
13位	(11位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	乳幼児教育・家庭教育	71.4	↘	
14位	(24位)	基盤的取組	復興、創生の更なる推進	70.9	↑	△
15位	(16位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	地域学習	70.8	↗	
15位	(20位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	都市間交流・国際交流	70.8	↗	
17位	(12位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	男女共同参画	70.4	↘	
18位	(28位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	産業創出・企業誘致	70.2	↑	△
18位	(19位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防犯・交通安全・消費者対策	70.2	↗	
18位	(29位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	地域産業	70.2	↗	
21位	(17位)	基盤的取組	セーフコミュニティ	69.9	↘	
22位	(30位)	基盤的取組	行政経営	69.8	↗	
22位	(21位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	5R(資源の有効利用)	69.8	↘	
24位	(18位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	学校教育	69.7	↘	
25位	(22位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	生涯学習	69.4	↘	
26位	(26位)	基盤的取組	SDGs	69.3	→	
27位	(15位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域コミュニティ	69.2	↓	▼
28位	(24位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	市民協働	69.1	↘	
29位	(26位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	特産品ブランド化	68.5	↘	
30位	-	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	多文化共生	67.9	-	
30位	(38位)	基盤的取組	連携中枢都市圏構想	67.9	↗	
32位	(34位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	ユニバーサルデザイン	67.7	↗	
33位	(31位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	エネルギー	67.6	↘	
34位	(33位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域福祉	67.5	↘	
35位	(23位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	創業・起業支援	67.4	↓	▼
36位	(35位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	障がい者福祉	67.2	↘	
37位	(31位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	高齢者福祉	66.8	↘	
38位	(39位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	環境活動	66.3	↗	
39位	(37位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	雇用・就労	65.7	↘	
40位	(40位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	計画的な都市づくり	65.6	→	
40位	(41位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	観光	65.6	↗	
42位	-	Ⅰ. 産業・仕事の未来	輸出・販路拡大	65.3	-	
43位	(36位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	交通・道路	64.7	↘	
44位	(42位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	シティプロモーション・関係人口	63.1	↘	
45位	(43位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	農林業	59.6	↘	



「音楽のまちづくり」「広聴広報」「医療」がトップ3です。

また、前年度に比べて「復興、創生の更なる推進」「産業創出・企業誘致」が大きく順位を上げています。

「まちづくり」についての重要度は？

項目（施策）の重要度

重要度上位3つは「子育て」「雇用・就労」「高齢者福祉」です。

【45項目（施策）の重要度ランキング】

※特に重要と思われるもの5つ選択

調査結果全体平均=11.5%

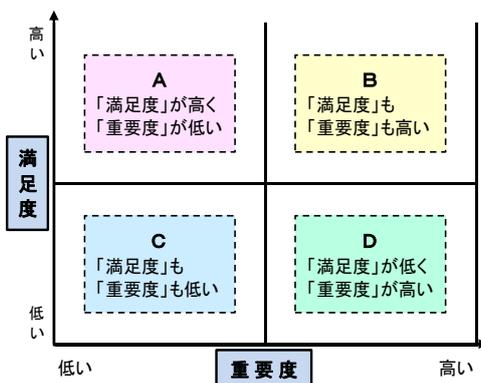
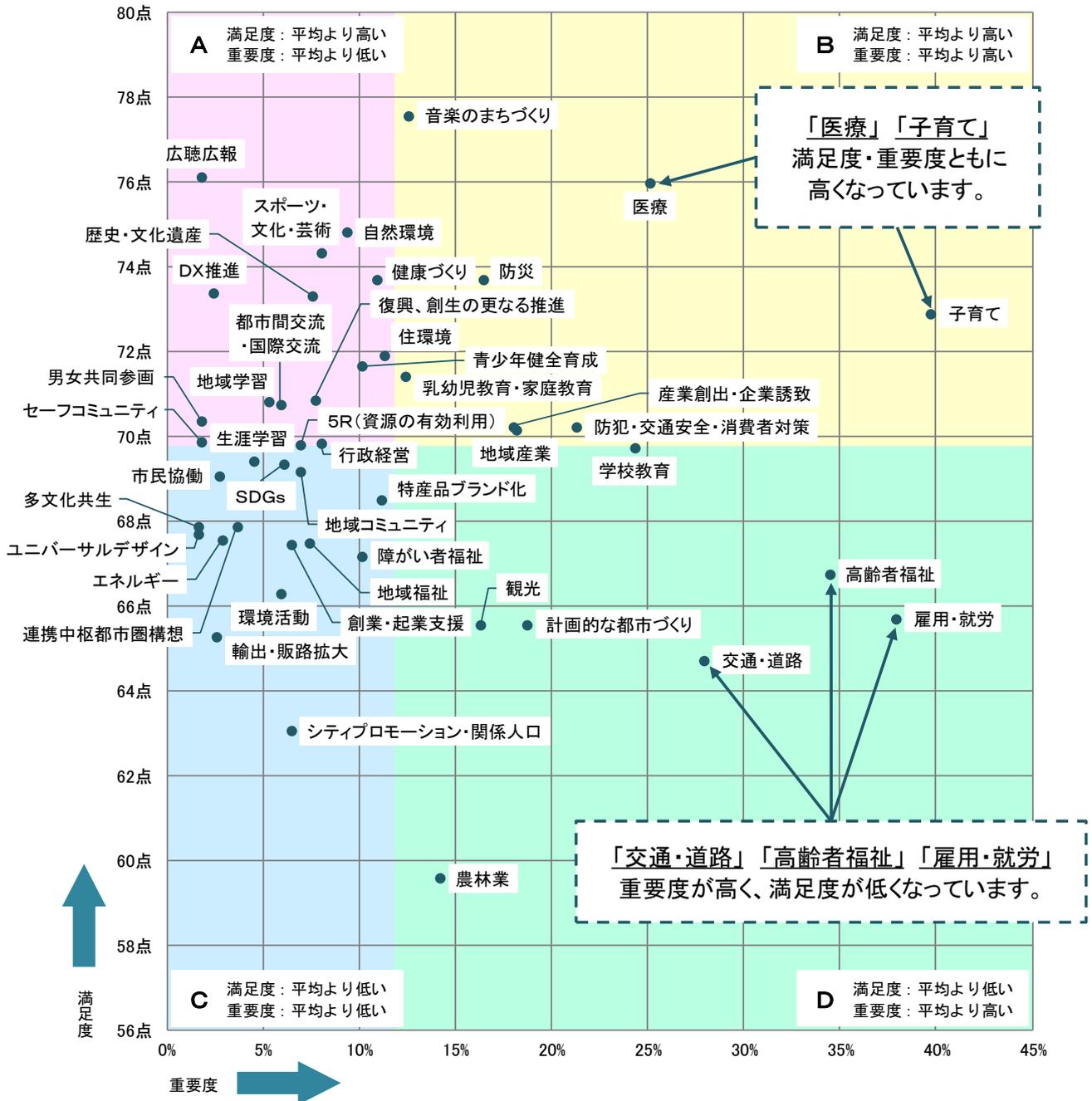
順位	前年度 順位	分野	項目	重要度 (%)	順位の変動	10位以上の 変動
1位	(1位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	子育て	39.7	➡	
2位	(3位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	雇用・就労	37.9	↔	
3位	(2位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	高齢者福祉	34.4	↔	
4位	(4位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	交通・道路	27.9	➡	
5位	(7位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	医療	25.1	↔	
6位	(6位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	学校教育	24.3	➡	
7位	(5位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防犯・交通安全・消費者対策	21.3	↔	
8位	(9位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	計画的な都市づくり	18.7	↔	
9位	(11位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	地域産業	18.1	↔	
10位	(10位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	産業創出・企業誘致	18.0	➡	
11位	(8位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	防災	16.5	↔	
12位	(12位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	観光	16.3	➡	
13位	(21位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	農林業	14.2	↔	
14位	(13位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	音楽のまちづくり	12.5	↔	
15位	(20位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	乳幼児教育・家庭教育	12.4	↔	
16位	(19位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	住環境	11.3	↔	
17位	(14位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	特産品ブランド化	11.2	↔	
18位	(15位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	健康づくり	10.9	↔	
19位	(16位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	青少年健全育成	10.1	↔	
19位	(23位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	障がい者福祉	10.1	↔	
21位	(22位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	自然環境	9.4	↔	
22位	(18位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	スポーツ・文化・芸術	8.0	↔	
22位	(26位)	基盤的取組	行政経営	8.0	↔	
24位	(28位)	基盤的取組	復興、創生の更なる推進	7.7	↔	
25位	(32位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	歴史・文化遺産	7.6	↔	
26位	(27位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域福祉	7.4	↔	
27位	(23位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	地域コミュニティ	6.9	↔	
27位	(25位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	5R(資源の有効利用)	6.9	↔	
29位	(29位)	Ⅰ. 産業・仕事の未来	創業・起業支援	6.5	➡	
29位	(34位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	シティプロモーション・関係人口	6.5	↔	
31位	(16位)	基盤的取組	SDGs	6.0	↓	▼
32位	(31位)	Ⅱ. 交流・観光の未来	都市間交流・国際交流	5.9	↔	
32位	(30位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	環境活動	5.9	↔	
34位	(33位)	Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来	地域学習	5.3	↔	
35位	(36位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	生涯学習	4.5	↔	
36位	(36位)	基盤的取組	連携中枢都市圏構想	3.6	➡	
37位	(35位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	エネルギー	2.9	↔	
38位	(41位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	市民協働	2.7	↔	
39位	-	Ⅰ. 産業・仕事の未来	輸出・販路拡大	2.6	-	
40位	(40位)	基盤的取組	DX推進	2.4	➡	
41位	(43位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	広聴広報	1.8	↔	
41位	(42位)	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	男女共同参画	1.8	↔	
41位	(38位)	基盤的取組	セーフコミュニティ	1.8	↔	
44位	-	Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来	多文化共生	1.7	-	
44位	(39位)	Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来	ユニバーサルデザイン	1.7	↔	



「子育て」「雇用・就労」「高齢者福祉」がトップ3です。

また、トップ10内では「雇用・就労」「医療」「計画的な都市づくり」「地域産業」が前年度に比べて順位を上げています。

施策の優先度（満足度と重要度の関係散布図）



A：維持領域

重要度は低いが満足度が高い取り組みは、現状を維持していく項目

B：重要維持領域

重要度が高く満足度も高いため、引き続き重点的に維持していく項目

C：要検討領域

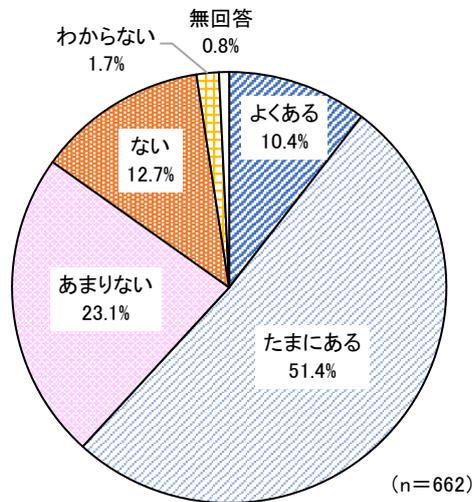
重要度も満足度も低い取り組みは、市民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目

D：重要改善領域

重要度が高いが満足度が低いため、重点的に取り組みを進める必要がある項目

行政センターを利用することがありますか？

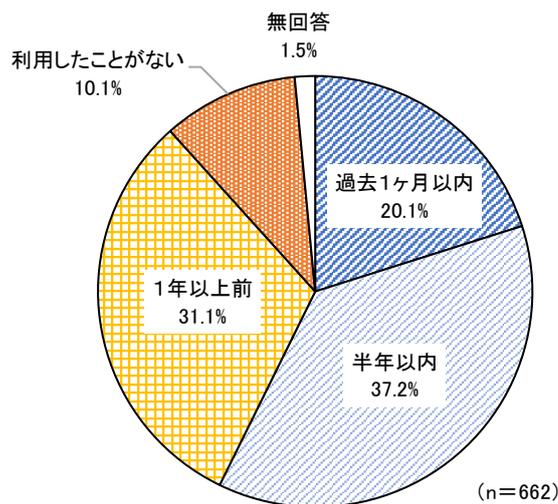
行政センターの利用頻度 6割以上の方が利用することが「ある」と回答しています。



➡ 行政センターを利用することが「よくある」または「たまにある」と回答した方は61.8%となっています。

最後に行政センターを利用したのはいつですか？

直近の利用状況 6割弱の方が「半年以内」に利用しています。

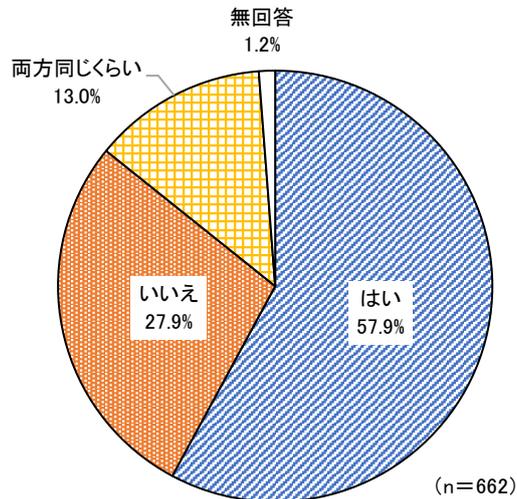


➡ 最後に行政センターを利用したのは「過去1ヶ月以内」または「半年以内」と回答した方は57.3%となっています。

市役所本庁より行政センターを利用することが多いですか？

市役所本庁と行政センターの利用頻度の差

6割弱の方が「行政センターを利用することが多い」と回答しています。

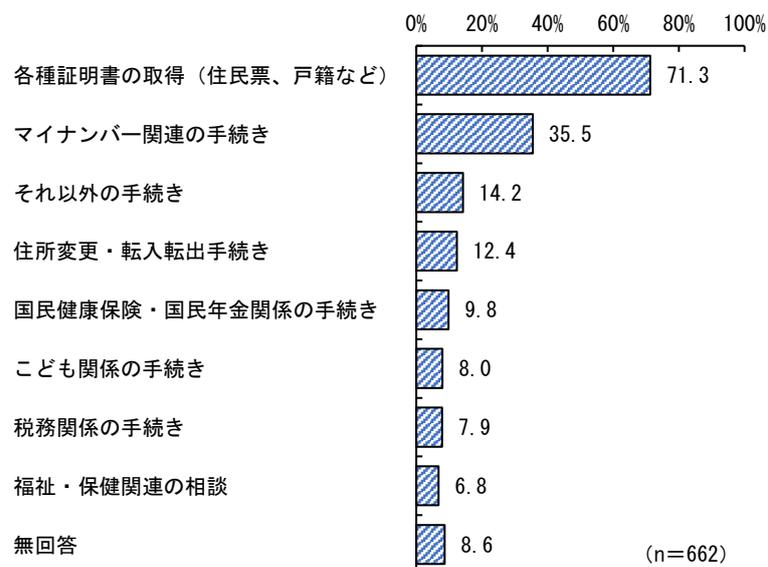


➡ 市役所本庁より行政センターを利用することが多いと回答した方は 57.9% となっています。

行政センターを利用する目的は何ですか？

行政センターを利用する目的

7割以上の方が「各種証明書の取得」と回答しています。

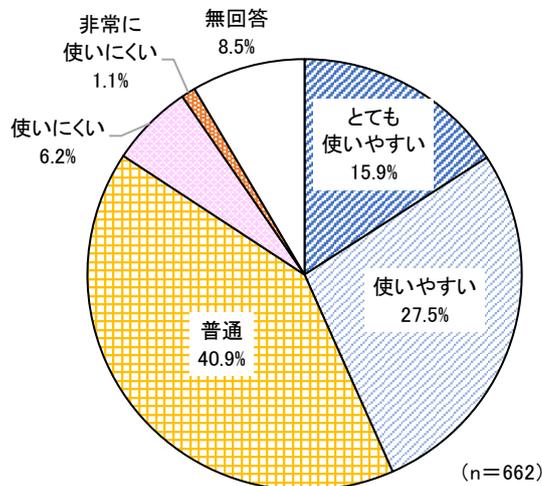


➡ 行政センターを利用する目的は「各種証明書の取得（住民票、戸籍など）」が 71.3% となっています。

施設や駐車場の使いやすさはいかがでしたか？

施設や駐車場の
使いやすさ

4割強の方が「使いやすい」と回答しています。

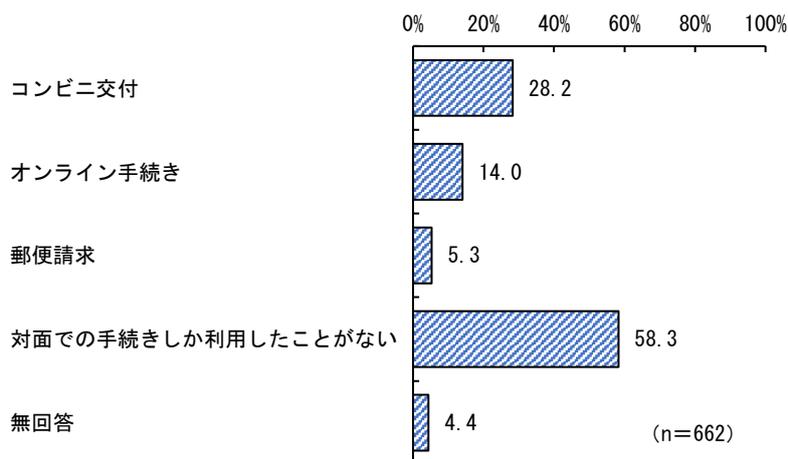


➡ 施設や駐車場の使いやすさについて「とても使いやすい」または「使いやすい」と回答した方は 43.4%となっています。

利用したことがある対面以外の手続き方法は？

利用したことがある
対面以外の手続き方法

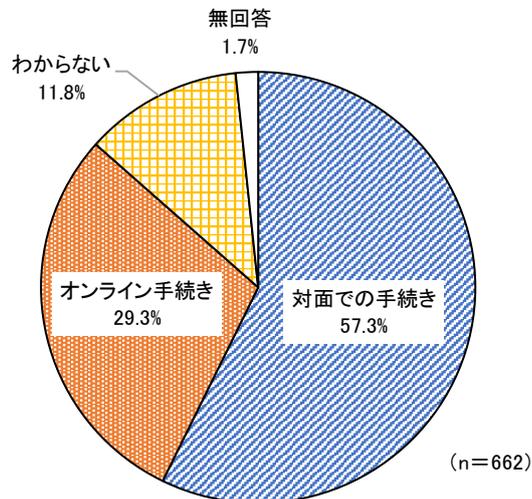
約6割の方が「対面での手続きしか利用したことがない」と回答しています。



➡ 利用したことがある対面以外の手続き方法について、最も割合が高いのは「対面での手続きしか利用したことがない」で 58.3%となっています。

市役所本庁や行政センター等での対面での手続きとオンライン手続きのどちらを利用したいですか？

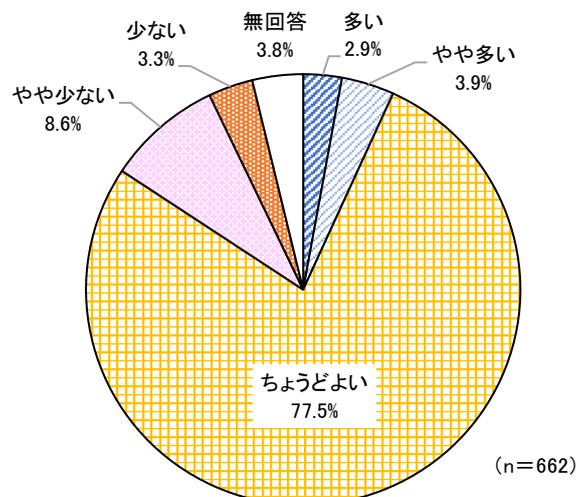
利用したい手続き方法 6割弱の方が「対面での手続き」を希望しています。



➡ 対面での手続きとオンライン手続きのどちらを利用したいかについて、「対面での手続き」が 57.3%、「オンライン手続き」が 29.3%となっています。

行政センターと連絡所の設置数について、どのように感じますか？

行政センターと連絡所の設置数 8割弱の方が「ちょうどよい」と回答しています。



➡ 行政センターと連絡所の設置数について、「ちょうどよい」と回答した方は 77.5%となっています。